

# THE ROOF



古賀春江  
《蝸牛のいる田舎》 1928(昭和3)年  
油彩・キャンバス  
当館蔵

## Contents

- 企画展「スイス プチ・パレ美術館展」
- 企画展「東日本大震災10年 やなせたかしの世界 -愛と抒情 アンパンマンを生んだひと-」
- 報告 企画展「郡山の美術とであう」
- 令和2年度収蔵品紹介
- Report
- Information

# スイス・プチ・パレの 美術館展

## ルノワールからエコール・ド・パリへ

Renoir et l'art moderne, Collections du Musée du Petit Palais de Genève

### 創設者オスカー・ゲーズ氏のコレクションへの情熱



オーギュスト・ルノワール  
《詩人アリス・ヴァリエール＝メルツバッハの肖像》  
1913年 油彩・キャンバス

19世紀後半のフランスでは、多くの若い画家たちがそれまでのアカデミックな表現方法から脱すべく、新たな様式を打ち立てようとしていました。のちに第1回印象派展と呼ばれることになる1874年のグループ展に端を發して、モネやルノワール

らが印象派を称するようになります。以降印象主義を乗り越えるべく、スーラ、シニャックが確立した点描法を用いる新

印象主義、精神性を重視して装飾的な画面を作り上げたナビ派、強烈な色彩を特徴とするフォーヴィスム、ピカソ、ブラックらのキュビズムといった前衛的な表現を突き詰めた画家たちが台頭し、その周囲には革新と伝統との間を行き来して自分なりの作風を探索した画家たちが集まるなど、第一次世界大戦までにかけて、多様な絵画表現が次々と花開きました。この活気溢れる時代はベル・エポック（良き時代）と呼ばれており、プチ・パレ美術館では当時のフランス近代絵画が充実しています。

同館のコレクションを作り上げた創設者のオスカー・ゲーズ氏（1905年、

1998年）は、チュニジアに生まれ、10歳のときフランス、マルセイユへ移住、第一次世界大戦後に化学技師の兄とともにイタリアでゴム製品の会社を興し、経営と財務を担いました。戦時下において工場をフランス、リヨンに移し、一時はアメリカに避難しながらも事業を拡大していきます。第二次世界大戦後、会社をさらに発展させると美術品の収集を始めました。多忙な仕事の合間を縫って、パリのギャラリーや作家のアトリエに足を運んで熱心に情報を集め、コレクションと興味の対象を拡充していき、最終的にはフランス近代の美術潮流を網羅する一大コレクションが形成されました。

彼の収集方針には敏腕実業家の側面が反映されています。ゲーズ氏は評価の定まったネームバリューのある作家を追うのではなく、作品そのものの質と価格のつり合いを吟味しながら購入を進めていきました。豊かな人脈の中で身につけた教養と経営の手腕によって培われた、彼独自の審美眼を恃みに選ばれた作品には、これまでの美術史ではあまり注目されなかつた、私たちになじみの薄い画家のものも多くあります。しかしいずれの作品も、目まぐるしく変化する美術動向の中に身を置いて、次々現れる新たな様式を取り入れ消化しようとする画家たちの生新たな意欲が伝わってくる優品ばかり

です。

ゲーズ氏は1960年に事業を売却して、収集活動に専念するようになります。フランス、リヨンの他にも居を構えていたジュネーブで新古典主義様式の邸宅を購入、1968年にプチ・パレ美術館を創設してコレクションを一般公開しました。彼は「芸術は国境のない世界共通の言語」と考え、収集活動以外にもアーティストを支援する展覧会事業などを繰り返して、芸術文化に貢献した功績によって数々の章を受勲しています。1998年93歳でこの世を去るまで、ゲーズ氏はさらなるコレクションの充実と、プチ・パレ美術館での人々との交流にその熱情を注ぎ続けました。

現在同館は休館中でコレクションの公開は行われていませんが、ゲーズ氏が掲げた「平和に奉仕する芸術」という理念は引き継がれ、国内外での展覧会に作品の出品協力を続けています。今回、ルノワールの《詩人アリス・ヴァリエール＝メルツバッハの肖像》をはじめとする主要所蔵作品が来日するのはおよそ30年ぶりのことです。華やかかつ力強い65点の油彩作品から、豊かな広がりを見せたベル・エポックの空気を感じていただければ幸いです。

（田中有沙子）



3



2



1



6



5



7



4

## 企画展

スイス プチ・パレ美術館展 ルノワールからエコール・ド・パリへ  
2022年2月11日(金・祝)～3月27日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(3月21日(月・祝)は開館、22日(火)休館)

観覧料：一般／1000(800)円

高校・大学生、65歳以上／700(560)円

※( )内は20名以上の団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：郡山市立美術館

後援：在日スイス大使館

企画協力：株式会社ホワイトインターナショナル

## 企画展関連イベント

講演会、スライドトーク、映画会を開催予定。

詳細はウェブサイトにて告知いたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントが中止になる可能性があります。

1 ジョルジュ・ボッティエリニ《バーで待つサラ・ベルナールの肖像》

1907年 油彩・キャンバス

2 シャルル・アングラン《収穫》

1887年 油彩・キャンバス

3 アンリ・マンギャン《室内の裸婦》

1905年 油彩・キャンバス

4 テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン《猫と一緒に母と子》

1885年 油彩・キャンバス

5 モーリス・ユトリロ《ノートル＝ダム》

1917年 油彩・キャンバス

6 ポール＝エリー・ランソン《海辺の風景》

1895年 油彩・キャンバス

7 マリア・ブランシャール《静物》

1917年 油彩・キャンバス

※画像は全て ASSOCIATION DES AMIS DU PETIT PALAIS, GENEVE

## やなせたかしの抒情世界

国民的キャラクター、アンパンマンの作者として語られることが多い漫画家やなせたかし。だが、才能豊かなやなせは、詩人、絵本作家、イラストレーターとしても幅広く活躍し、さらに気鋭の編集者の顔も持ち合わせていた。1973年の創刊以来、やなせが30年間情熱を傾け責任編集を貫いた雑誌こそ、『詩とメルヘン』（サンリオ出版）である。本展では、絵本の原画などと共に『詩とメルヘン』とそのジュニア誌『いちごえほん』（1975-1982）の表紙原画の代表作を展示している。『詩とメルヘン』は、作りのプロアマを問わず、やなせの眼にかなった詩や童話（メルヘン）と絵が自在にレイアウトされる贅沢な文芸誌だった。発行人の辻信太郎は、キティちゃんのキャラクターで知られる株式会社サンリオの社長であり、やなせの



〈あたらしい年がきた夜明けの国へいってみよう〉  
『詩とメルヘン』1977年1月号（個人蔵）



〈虹をのせて荷馬車すきゆく草の道〉  
『詩とメルヘン』1997年4月号（個人蔵）



『詩とメルヘン』（個人蔵）

詩集『愛する歌』（1966年刊）を世に出した縁があった。創刊当初、やなせは投稿詩やイラストの選から作詩作画、豆カットにいたるまでこなし、30年間すべての表紙絵を自ら手がけた。色彩豊かな表紙絵には、寄り添う男女のさまざまな姿が、四季折々の風景にそっと溶け込むように描かれた。やなせは幼い頃、鈴木三重吉が主宰した雑誌『赤い鳥』に親しんだ。『赤い鳥』は近代日本の児童文学・児童音楽のパイオニア的存在であり、抒情的な挿絵の宝庫でもある。『赤い鳥』への傾向を示しながらも、やなせは新しい当世抒情世界の開拓を目指していた。その軸となったのは、幅広い人々の心の琴線に響くような詩とわかりやすく色彩豊かな挿絵だった。ベトナム戦争やハイジャック事件などが世相に暗い影を落とし、安易に刺激を求める

雑誌に注目が集まる時代にあって、やなせは人々が忘れかけた抒情世界を謳いたかったのだという。創刊当時から挿絵に彩筆をふるった宇野亜喜良、林静一をはじめ、『詩とメルヘン』からは、葉祥明、永田萌、味戸ケイコら数多くのイラストレーターが輩出された。「なんのために 詩や童話を愛する なんのために 絵をかく 絵を見る なんのために 「詩とメルヘン」をつくる なんのために 「詩とメルヘン」を読む それがなくても生きていけるのかし 乾いた砂漠の時代のなかで ひびわられていく心に一滴の抒情を！ ところであなたは……。」（『詩とメルヘン』5月号 1979年「編集前記」より）『詩とメルヘン』は、2003年に休刊というかたちで幕を下ろしたが、今なお多くのファンに愛され続けている。（永山多貴子）

### 企画展

東日本震災10年 やなせたかしの世界 ～愛と抒情 アンパンマンを生んだ人～

2021年10月23日（土）～12月26日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日

観覧料：一般／1,000（800）円

高校・大学生、65歳以上／700（560）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：やなせたかしの世界展実行委員会  
（郡山市立美術館、福島中央テレビ、福島民友新聞社）



『詩とメルヘン』1977年5月号（個人蔵）

郡山市出身の詩人三谷晃一(1922-2005)、同市出身の画家篠崎三朗(1937-)による作品が掲載されている。

「郡山の美術とであらう」

会期：2021年9月10日（金）～10月10日（日）

本展覧会では、市内に遺されている美術品、選りすぐりの郡山市立美術館コレクション、そして現在郡山で活動する作家の作品を3部構成で展示しました。

第1章で紹介したのは、郡山に生まれ、地域の文化発展に大きな刺激を与えた横田治右衛門（1880-1958）のコレクションです。横田は、画家たちと交流しながら多くの作品を収集しただけでなく、美術の普及にも尽力しました。美術雑誌発行に投資し自らも執筆したほか、昭和23年には郡山の公会堂において、須賀川出身の画家で銅版画家の亜欧堂田善を紹介する展覧会も開きました。

第2章では、郡山市立美術館コレクションのなかから、筆づかいや絵肌が特徴的な作品を展示し、さまざまな技法と素材がかたちづくる作品の魅力に迫りました。

第3章では、大石尚さん（彫刻家）、中村亞都子さん（画家）、野口和洋さん（版画家）、齋藤ナオさん（画家）の作品を展示しました。4名とも郡山を拠点に活躍する作家です。会期中には作家本人によるアーティストトークも開催し、作品や制作方法について詳しくお話しいただきました。

さまざまななかたちで郡山と関係の深い美術を取り上げ、多彩な作品との出会いをお楽しみいただく展覧会となりました。（新田量子）



追悼 佐藤静司氏

駅前や公園、公共施設などで目にする彫刻像―郡山市内のこうした彫刻のある街の風景に功績を残した彫刻家・佐藤静司氏が9月12日106歳で逝去されました。

1915（大正4）年郡山駅前生まれ、県立安積中学校（現在の県立安積高校）在学中に彫刻家を志し上京。同郷の三木宗策（1891-1945）のもとで木彫を学び、戦後は澤田政廣（1894-1988）に師事。1936（昭和11）年第1回改組帝展に初入選以来、戦後も日展を中心に活躍し、審査員、評議員などを歴任。1997（平成9）年勲四等瑞宝章を受章。

確かな技術に裏付けされたモダンな造形で、ストイックでありながら自由闊達でユニークな作品の発表を続けた。当館では2007年「佐藤静司彫刻展」を開催。郡山市フロンティア大使をつとめるなど故郷への貢献も大きく、当館はじめ市内施設に多くの作品を寄贈。県内各地に設置された作品は広く県民に親しまれています。



アトリエにて（2006年頃）

新

収蔵作品紹介

令和2年度もみなさまのご協力により、新たに作品を収蔵することができました。

購入作品は、明治から大正、昭和にかけて活躍した洋画家、川村清雄（1852-1934）の油彩画1点、郡山にゆかりのある土橋醇（1910-1978）の油彩画1点、いわき市出身の田口安男（1930-）のテンペラ画1点、イギリスの水彩画家、ジョン・セル・コットマン（1782-1842）が原画を描き漆原木虫（1889-1953）が彫りと摺りを手掛けた木版画1点の計4点です。



川村清雄《滝》1919(大正8)年 油彩・キャンパス



ジョン・セル・コットマン(画)、漆原木虫(刻)  
《嵐の後の航海》1837年 木版・紙

また、川村清雄の油彩画1点を木村喜昭様から、土橋醇の油彩画4点を土橋千鶴子様から、荒木寛畝（1831-1915）の掛軸1点と渡辺晨畝（1867-1938）の掛軸2点を齋藤哲生様から、佐藤潤四郎（1907-1988）の《スーパードリッパ》東京五輪1964モデル5点をニッカウキスキー株式会社様から、テンペラ画のほか油彩や下絵を含めた6点を田口安男様ご本人名義でご寄贈いただきました。

新たに収蔵した作品は、常設展などで順次展示していく予定です。

常設展示のご案内

2021年12月26日（日）まで

- 1 イギリス美術のイギリス性
- 2 美の明治：  
工部美術学校と東京美術学校
- 3 大集合！形が楽しい絵画たち
- 4 版画で旅する日本／  
暮らしのなかの工芸

2022年2月11日（金・祝）から

- 1 小特集：イギリス-水彩画への誘い
- 2 西洋に学んだ画家たち
- 3 今日の立体アート
- 4 美しい本の世界／  
素材とかたち

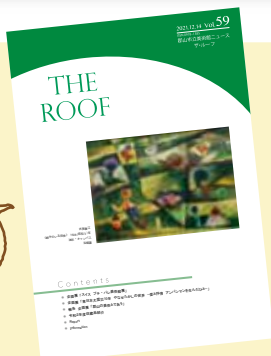
郡山市立美術館所蔵品検索

Search the Collection | Koriyama City Museum of Art

当館では令和3年4月より美術館所蔵品検索システムを公開しています。当館が所蔵する作品のデータや一部の作品画像を見ることができます。ぜひご活用ください！  
下記URL、当館ウェブサイトからもアクセスいただけます。

<https://koriyama-artmuseum.jp/>

表紙の  
作品



古賀春江 1928（昭和3）年 油彩・キャンパス 65.2×91.0 cm 当館蔵  
《蝸牛のいる田舎》

古賀春江（1895-1933）は、福岡県久留米市出身の画家です。画家を志して17歳で上京するも、38歳という若さで生涯を閉じたため、古賀が画壇で活躍したのはほんの十数年でした。本作品には、蝸牛や人、花や木といったモチーフが格子状に構成された画面の中に散りばめられ、実景を伴わない空想の風景が描き出されています。同時代のさまざまな芸術運動を巧みに吸収した古賀らしい作品といえるでしょう。

# Report

## 企画展「無言館」展 ～遺された絵画からのメッセージ～ 関連

会期：2021年6月19日（土）～8月29日（日）

講演会

「無言館のこと 一戦没画学生が遺したもの」

2021年8月15日（日）

場所：多目的スタジオ

講師

窪島誠一郎さん（無言館館主）

8月15日、終戦の日に無言館館主の窪島誠一郎さんによる講演会を開催しました。無言館の開館にまつわるエピソードなど貴重なお話をいただきました。



本講演会の録画映像は郡山市のYouTubeチャンネルで公開しております。

## 第19回 風土記の丘の美術展 ～郡山市内の小学生による作品展～

会期：2021年7月24日（土）～8月20日（金）

場所：美術館ロビー



市内を4つの地域に分けて、週替わりで展示しました。小学生ならではの個性豊かな作品が並びました。

## 企画展「郡山の美術とであう」関連

会期：2021年9月10日（金）～10月10日（日）

アーティストトーク①

2021年10月3日（日）

場所：多目的スタジオ

講師

野口和洋さん（版画家）

齋藤ナオさん（画家）

聞き手：当館学芸員



アーティストトーク②

2021年10月10日（日）

場所：多目的スタジオ

講師

大石尚さん（彫刻家）

中村亜都子さん（画家）

聞き手：当館学芸員



企画展「郡山の美術とであう」の出品作家によるトークイベントを開催しました。自身の作品に用いた素材や技法、具体的な制作方法や主題について、作家ならではの視点から詳しく解説していただきました。

## 第13回 風土記の空 ～郡山市内の中学校美術部による作品展～

会期：2021年11月2日（火）～11月28日（日）

場所：美術館ロビー

参加校

日和田中学校

郡山第四中学校

郡山第六中学校

小原田中学校



絵を額に入れていきます

壁に作品を掛けていきます



郡山市内の中学校美術部で制作した作品を展示しました。自分の絵を額に入れる作業や、壁に絵を掛ける展示体験もおこないました。

## ワークショップ参加者募集

### 線で表現 木口木版画講座

木を輪切りに切り出した硬質な版木に繊細な線を彫っていく、精緻な世界を表現します。木口木版初心者の方を対象としたワークショップです。

日 時：2022年2月19日(土)、20日(日)、26日(土)、3月5日(土)  
各日 午前10時～午後4時  
※4日間で1つの講座となります

講 師：野口和洋さん（版画家）

対 象：中学生以上

定 員：10名

場 所：郡山市立美術館 創作スタジオ

参加費：材料費として2,500円

応募締切：2022年1月30日(日)必着

### はじめての「岩絵具」で描く

日本の伝統的な絵具を使って、色を重ねたり、スタンプのようにかたちを押ししたり… 岩絵具ならではの魅力を味わいながら作品をつくりまします。

日 時：2022年3月12日(土)、13日(日)  
各日 午前10時～午後4時  
※2日間で1つの講座となります

講 師：中村亜都子さん（画家）

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

定 員：15名

場 所：郡山市立美術館 創作スタジオ

参加費：材料費として2,000円

応募締切：2022年2月20日(日)必着

#### 応募方法

①～④をご記入のうえ、ハガキ、ファックス、Eメールのいずれかでお申し込みください。

- ①参加希望ワークショップ名
- ②参加希望者氏名（1通につき1名様）
- ③郵便番号・住所
- ④電話番号（ファックス番号）

#### 応募先

郡山市立美術館「ワークショップ係」宛  
ハガキ：〒963-0666 郡山市安原町字大谷地130-2  
ファックス：024-956-2350  
Eメール：bijutsukan@city.koriyama.lg.jp

※定員を超えた場合は抽選となります。結果はハガキにてお知らせします。

## 休館のお知らせ

年末年始及び諸設備点検等のため、下記の期間を休館とさせていただきます。



2021年  
12月27日(月)  
↓  
2022年  
2月10日(木)

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 新型コロナウイルス感染症対策について

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします



- 発熱、呼吸器症状（咳など）のある方は入館をご遠慮ください。
- 団体でご来館の際は事前予約をお願いします。
- 混雑する場合は入場制限をすることがあります。

## TOPICS



営業時間 / 11:00-17:00  
電 話 / 024-942-2250

### 【季節限定パスタのご案内】

旬の食材を使ったパスタメニュー・

12月からは『魚介のクラムチャウダー風スープパスタ』1,200円（サラダ・ドリンク付）

玉ねぎやじゃがいもなどの野菜とあさりの旨味が凝縮されたクラムチャウダーのスープパスタ。

もちもちのパスタにスープが絡んで食べごたえがあり  
小さなお子様にもおすすめ出来る満足度の高い一品です。

メニューや料金、営業時間は予告なく変更となる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

